

一貫教育校の広場

ニューヨーク学院
(高等部)

女子高等学校

志木高等学校

高等学校

湘南藤沢
中等部・高等部

中等部

普通部

横浜初等部

幼稚舎

変革を乗り越えて

●ニューヨーク学院(高等部) ディレクター(広報・開発担当、学院長補佐)

やまだりえこ
山田理江子

2020年はニューヨーク学院にとって、かつて経験したことのない変化の年でした。2019年の8月に英国のウィンチェスターカレッジの学院長を務められたタウンゼント博士を学院長に迎え、改革が着手されました。寮は六つのハウスで構成されることになり、アカデミックな授業だけでなく、課外活動も含め、伝統的なバストラルケアが根幹にある全人格的な教育の場としてキャンパスを成熟させていくために、数々の質的な変容がカリキュラムに施され実践されてきました。在校生、保護者、教職員にとっては言うまでもなく、卒業生にとっても、この学院の初めての大きな転換期は戸惑いを感じさせるものでもありましたが、向上心を持ち、新しい学校を作る意気込みで皆、心を合わせて取り組み、Webサイトも一新しました。

ところが、昨年3月には新型コロナウイルス感染症拡大に直面し、さらなる変革を余儀なくされました。90%以上の生徒が外国から留学している学院は、ニューヨーク州が緊急事態宣言を発令する前に、キャンパスを閉鎖し生徒の安全と健康を第一に考慮し彼らを直ちに自宅に戻すという決断をしました。当時の日本からは、少し先走り過ぎた印象に感じられたかもしれない、その決断とオンライン授業への切り替えも、そ

の後ニューヨークが前代未聞の危機的状況に陥ったことを鑑みるとベストの判断であったと多くの皆さまからフィードバックをいただきました。

オンライン卒業式、新入生への英語のサマープログラム、そしてオンライン入学式と初めての取り組みが続き、9月からの新年度も、日本、アメリカ東海岸、その他の地域や国々における全生徒対象に、時空間の距離を超えてバイリンガル・バイカルチュラルという教育理念に立脚したオンライン授業が行われています。授業だけでなく、生徒との面談やグループセッション、さらには三田キャンパスにおける遠隔学習などの企画も取り入れ、対面式の授業が行われない間も生徒同士や教員との交流を図りバーチャル教室の拡充に努めています。予測不確実性が高まる世界の動きに鋭敏に順応しつつ、日米の時空間の距離を超え初めてのことを前向きに楽しめるキャンパシティを涵養する、ニューヨーク学院らしい教育を実践し続けています。

カリキュラム改革と新型コロナウイルス対策という、これまでにない大きな二つのチャレンジを経て、ニューヨーク学院は2020年10月23日に創立30周年を迎えました。時代とともに形式は変わっても、慶應義塾が培う人間力をこころこニューヨークにおいてこれからも目指していくことを誓って新たな年を始めます。



Visiting President's Office



Video Shooting for Online Assembly



Dr. Townsend Portrait



Keio Academy of New York Main Entrance